

信じる

生まれたての
明日の為に
水は水晶になり

涙は真珠になる

ほんと…?

うん、ほんと

S.Matsumoto



Photo by Eiko Matsumoto

セリ才便り

四月号

— 2026 —



あけぬ。東北の四月は梅と共に始まり新しい
 出会いや出会いなど希望や夢がふくらむ。
 季節がずいぶんが皆様お変わりごさるせんか？
 私の方は気が付けば半年余りの入院を終え無事
 に退院してから早いもので一年にもなる。その事に
 おどろいてその子の病気の向き合い方や人生の
 晩年の付き合い方など仕事や人間関係なども
 ソメにシンプルに「楽」には出来るかは「楽」な身しで
 あると再認識してそのころです。

困難に出会ってそれをめぐる事の一つは感謝はま
 ない時や状況こそ、その先にも光があるという体験で
 訓練という言葉には、試される苦業が訓練である
 越えなければならぬ意味が隠れていてその人に
 必要の高さのハードルがあるとそう事であった。

ありめち困難が無ければ気が付かない、悟れない、成長
 出来ない、学べないというのも人間だからなりで人生という
 事なりという感謝に敵ないし、友や宿に終りなしの
 言葉も胸に四月も元気に前向きです。先月は不眠症
 ステイトの「リクシユレ」ペアの金メダルまでのドラマに
 感謝し、春の甲子園高校野球見学の活躍に涙して
 元気を返すから新しいための、今月はソリク整理して
 身軽なフィットワークを心がけては発です。

皆様ご自愛の上お過ごしを
 感謝を込めて

春セリ才

松本 章



令和八年四月吉日

松本章 謹啓

